



＼地域・世界から学び、強靱なインフラの実現へ！／

大阪大学大学院工学研究科・長崎大学大学院総合生産科学研究科の インフラ研究拠点が連携協定を締結しました

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科と長崎大学大学院総合生産科学研究科は、2026年 9 月 14 日(月)にインフラマネジメント研究に関する連携協定を締結しました。

両研究科はこれまで、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期」の課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」を通じて連携してきました。本協定は、これまで培ってきた連携関係を基盤として、インフラマネジメント分野における教育・研究の高度化と研究成果の社会実装の推進を目的とするものです。本協定に基づき、大阪大学大学院工学研究科ではサステナブル・インフラ研究センターを、長崎大学大学院総合生産科学研究科では持続可能社会創造センターをそれぞれ中心として、連携を進めていきます。



(写真左より)長崎大学大学院総合生産科学研究科 西川貴文教授、
大阪大学大学院工学研究科 サステナブル・インフラ研究センター長 貝戸清之教授

❖ 協定締結の背景

大阪大学大学院工学研究科サステナブル・インフラ研究センターでは、インフラ群の老朽化が進む中、インフラマネジメント手法を用いた国土・都市・地域社会の再生と発展に向け、研究や社会実装に取り組んでいます。

一方、長崎大学大学院総合生産科学研究科の持続可能社会創造センターでは、社会基盤の整備・維持管理を重要な社会課題の一つとして位置づけ、インフラの維持管理・長寿命化等に関する研究・教育を進めています。

こうした両センターの取り組みを基盤に、これまでの連携をさらに発展させ、研究成果や技術、人材等の相互活用を推進するため、今回の協定締結に至りました。

❖ 今後の展開

今回の連携協定により、両研究科が有する研究・教育等の知見や技術を生かし、インフラマネジメントに関する学術研究の発展を図ります。また、これまで培ってきた地域との連携や海外展開に関する実践的な知見を生かし、**国内外のインフラ管理者に対する研究成果の社会実装、技術支援、高度専門人材の育成等を推進します。**

特に、長崎大学を中心として両大学がこれまで国際協力機構(JICA)の課題別研修や技術協力プロジェクト等を通じて蓄積してきた、東南アジア・アフリカの道路・橋梁管理を担う行政技術者の育成や現地での技術協力の経験を、今後の連携に生かすことが期待されます。

両大学がこれまで培ってきた国内の地方自治体との連携も生かし、各国・地域の実情に応じたインフラマネジメント手法の構築と社会実装を進め、**持続可能で強靱なインフラの構築に貢献していきます。**

❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学 大学院工学研究科
サステナブル・インフラ研究センター 事務局
TEL: 06-6879-4325
E-mail: contact@sirc.eng.osaka-u.ac.jp

長崎大学 大学院総合生産科学研究科
持続可能社会創造センター
TEL: 095-819-2625
E-mail: sgkensoumu@ml.nagasaki-u.ac.jp